

解 答 速 報

近畿大学医学部(推薦) 英語

2020年 11月22日実施

I	[A]			[B]				
	1	2	3	4	5	6		
	ア	イ	ア	エ	ウ	ア		
II	7	8	9	10	11	12		
	ア	イ	キ	エ	オ	カ		
III	13	14	15	16	17	18	19	20
	エ	イ	ア	イ	ア	ア	ウ	ウ
IV	21	22	23	24				
	エ	イ	ア	ア				
V	25	26	27	28	29			
	ウ	ウ	ア	ウ	ウ			
VI	30	31	32	33	34	35	36	37
	エ	ア	ウ	カ	ウ	イ	ウ	ア
VII	38	39	40	41	42	43	44/45	
	エ	ア	ウ	イ	ア	イ	イ	キ

I 会話文

[A]

1. ア. How about I clean it up immediately?

「すぐに掃除しようか」

空所の直後の B の発言に “That’d be appreciated. ~ we’ll have it done before I leave for work this afternoon.” と書かれていることから、A の発言の空所には「感謝されるようなこと」かつ「午後までに行うこと」が書かれていることがわかる。残りの選択肢の意味は以下の通り。

イ. 「今晚の英語の授業の後に全て掃除してしまうよ」

ウ. 「また時々友人を招かせてね」

エ. 「私の代わりに掃除してもらえないかな」

2. イ. How about you clean the table while I wash these plates?

「俺がこのお皿を洗うから、お前がテーブルを掃除してくれないか」

空所の直後の A の発言に “because of your dry skin, you’re supposed to avoid putting your hands in water” と書かれていることから、B の発言の空所には「手に水がかかるような掃除を B が行う」という趣旨の発言が入ることがわかる。残りの選択肢の意味は以下の通り。

ア. 「お前が食器を洗って、俺がテーブルを掃除するよ」

ウ. 「お前がゴミを外に出したら、俺が床にあるこれらの服を全て集めるよ」

エ. 「お前が散らかっているものを整理して、俺がゴミを出すよ」

3. ア. Good idea, because it's such a waste otherwise.

「いい考えだね。だって、そうしなければ無駄になるからね」

空所の直前の B の発言に “we can use them again, so treat them the same as the other dishes”、および空所直後の B の発言に “For sure. We definitely have to try our best to reuse things when we can” と書かれていることから、A の発言の空所は「物を再利用しないとイケない」という趣旨の発言が入ることがわかる。残りの選択肢の意味は以下の通り。

- イ. 「捨てることができるものを買った方が良かったかもしれないね」
 ウ. 「だから、私がそれらを缶とボトルと一緒に袋に入れるよ」
 エ. 「ええと、それなら私がそれらを洗わないとイケない時間が節約できるね」

[B]

4. エ. Well, my older son turns twelve in a week.

「ええ、長男が 12 歳になるのは一週間後です」

空所の直前の A の発言に “Are either of the children twelve yet?”、および空所直後の A の発言に “It covers ~ two children under that age” と書かれていることから、B の発言の空所は「子供は 2 人とも 12 歳を下回っている」という趣旨の発言が入ることがわかる。残りの選択肢の意味は以下の通り。

- ア. 「実は、次男だけがまだ 12 歳ではないんです」
 イ. 「実は、子供は 2 人とも既に 12 歳なんです」
 ウ. 「実は、今日が次男の 12 歳の誕生日なんです」

5. ウ. But it's only available from 3 p.m.

「でも、それは午後 3 時以降しか利用できません」

空所の直後の B の発言に “That'd delay our entrance to the park though.” と書かれていることから、A の発言の空所には「すぐには入場できない」という趣旨の発言が入ることがわかる。残りの選択肢の意味は以下の通り。

- ア. 「そしてちょうどここに今日利用できるチケットがあと 1 組ございます」
 イ. 「そしてそれが 1 日のこの時間帯でとても人気のある選択肢です」
 エ. 「でも、それは午後 3 時までしか販売しておりません」

6. ア. I suppose we could go and get an ice cream.

「アイスクリームでも買いに行けたらと思っています」

空所の直後の A の発言に “In that case, I can recommend an excellent place to get one if you'd like” と書かれていることから、B の発言の空所は「何かを手に入れたい」という趣旨の発言が入ることがわかる。なお、空所直後の A の発言の “one” は、選択肢ア. an ice cream を指している。残りの選択肢の意味は以下の通り。

- イ. 「ただ車に戻って待てたらと思っています」
 ウ. 「待たなければならないなら、チケットは買わないでおこうと思います」
 エ. 「何かあなたに良い提案があるのでしたら、それに興味があります」

II

空所補充

7. ア. The first actual attempt to build such a tunnel began in 1881, but the attempt was abandoned after a year due to fears that it would threaten Britain's national security.

「そのようなトンネルを建設する最初の試みは 1881 年に始まったが、イギリスの国家の安全を脅かすという恐れから、1 年後にその試みを断念した」

8. イ. ~, until a consortium of British and French companies was awarded the project in January 1986.

「~ ついに 1986 年 1 月に、イギリスとフランスの共同企業体がその事業にあてがわれた」

9. キ. Public opinion favored a tunnel cars could drive through, but ~.

「世論では自動車を通り抜けられるトンネルに好意的だったが、~」

10. エ. Instead, passengers could either travel by train, or drive their cars into specially designed train wagons.
「代わりに、乗客にできたのは列車で移動することか、特別に設計された貨車に車を入れることかのどちらかだった」
11. オ. The Channel Tunnel required digging a 31-mile undersea tunnel, which ~.
「英仏海峡トンネルは深さ 31 マイルの海底トンネルを掘る必要があったが、それは～」
12. カ. It took six years to complete and involved the work of 13,000 people.
「それは完成するのに 6 年かかり、それに 13,000 人の労働者が関わった」

III

文法 4 択

13. エ. [The distribution of the free meals began last Friday and is expected to continue until next Saturday.]
「無料の食事の提供が先週金曜日に開始し、来週土曜日まで続く予想されている」
空所の動詞の主語は“The distribution”であり、受動態にする必要がある。また、ここでは現時点での予想について述べていると判断できるため、現在形であるエ. is expected 「(現在)予想されている」が正解となる。
14. イ. [The reason he was absent from class was that he had a headache this morning.]
「彼が授業を欠席した理由は今朝頭痛がしたからである」
空所以降は“The reason ~ was”に続く補語であることから、空所には名詞節を作る接続詞が入る。また、空所直後には完全な文が続いていることから、完全文を伴う名詞節を作るイ. that が正解となる。
15. ア. [I left the file closed, so that no one could see inside it.]
「私はそのファイルを閉じ、誰にも中身を見られないようにしておいた」
空所の直前の“leave”は、ここでは“leave O C”「OをCのままにしておく」の形で用いられている。Cに入るのは「現在分詞」または「過去分詞」のいずれかであるが、ここではOが“the file”であることから、受動関係を表すア. closed が正解となる。
16. イ. [There are three baseball teams in this town, of which ours is the best.]
「この街には野球チームが3つあり、その中で私たちのチームが1番だ」
空所の直後に関係詞を入れる問題であることが前提であるが、直後には完全な文が書かれていることから、空所には「前置詞 + 関係代名詞」が入ることがわかる。したがって、イ. of which 「その中で」が正解となる。なお、関係代名詞の“that”は、前置詞の後に用いることができないことに注意すること。
17. ア. [One of the woman’s colleagues was from Hyogo, another was from Nara, and the others were from Osaka.]
「その女性の同僚の1人は兵庫出身で、もう1人は奈良出身で、他は皆大阪出身だ」
空所直後に“was”があるため、空所には単数名詞が入る。また、他にも同僚がいるため、「他のうち1つ」を表すア. another が正解となる。
18. ア. [This pudding tastes sweet, especially when it is kept cool in the fridge.]
「このプリンは、特に冷蔵語で冷やしておくと甘くなる」
空所直前の動詞“tastes”は、形容詞を補語として伴う。したがって、ア. sweet が正解となる。
19. ウ. [Such was her shock over what she had seen, Ann stood motionlessly for some time.]
「彼女は見たものにショックを受けたあまり、しばらく動かず立ち尽くしていた」
空所直後の“was her shock”に注目する。文構造および意味を考えると「倒置文」とであると判断できる。よって、空所にはウ. Such が入り、“Such is S (that) S’V’”「Sのあまり、S’V’する」という構文を完成させる。これは、“S is such that S’V’”が基本形であり、“S is so great that S’V’” (so+that 構文)と本質的に同義である。なお、この構文は“that”が省略可能であり、本問ではコンマの直後に“that”が省略されていることに注意する。

20. ウ. [His story is worth listening to to understand what is happening in that developing country.]
 「彼の話はその発展途上国で起きていることを理解するにあたって聞く価値がある」
 “worth” の直後に入れるべき動名詞は、その目的語に「文の主語」が置かれるような形となる。本問では、文の主語である “His story” を空所に入れるべき動名詞の目的語ととらえ、“listening to (his story)” という形を構成する。したがって、ウ. listening to が正解となる。

IV

同意文選択

21. エ. Emma was requested to temporarily do Tom’s job because he is ill.
 「トムは病気なので、エマは一時的に彼の仕事をするように頼まれた」
 設問：Emma was asked to fill in for Tom because he is ill.
 「トムが病気なので、エマは彼の代わりを務めるように頼まれた」
 他の選択肢の意味は以下の通り。
 ア. トムは病気なので、エマは彼に食べ物を作るように頼まれた。
 イ. トムは病気なので、エマは彼を喜ばせるように頼まれた。
 ウ. トムは病気なので、エマは彼の症状を改善させるように頼まれた。
22. イ. The company returned to their former ways because sales fell.
 「その企業は売り上げが下がったので、以前のやり方に戻った」
 設問：The company went back to their old ways because sales decreased.
 「その企業は売り上げが下がったので、昔のやり方に戻った」
 他の選択肢の意味は以下の通り。
 ア. その企業は売り上げが下がったので、従来のやり方を放棄した。
 ウ. その企業は売り上げが下がったので、古いやり方を見直した。
 エ. その企業は売り上げが下がったので、従来のやり方を修正した。
23. ア. Patty made a promise to regularly contact Mary over the summer holidays.
 「パティは夏休みの間メアリーと定期的に連絡すると約束した」
 設問：Patty promised to keep in touch with Mary over summer vacation.
 「パティは夏休みの間メアリーと連絡を取り続けると約束した」
 他の選択肢は以下の通り。
 イ. パティは夏休みの間メアリーの家に滞在すると約束した。
 ウ. パティは夏休みの間メアリーを助け続けると約束した。
 エ. パティは夏休みの間メアリーと旅行すると約束した。
24. ア. Once Tom discovered who was going to the party, he attempted to withdraw his commitment to go.
 「トムはパーティーに行くのが誰なのかが分かるやいなや、彼は行く約束を撤回しようとした」
 設問：Tom tried to back out of the party after he realized who was attending.
 「トムは出席するのが誰なのかがはっきり分かって、そのパーティーの約束を反故にしようとした」
 他の選択肢は以下の通り。
 イ. トムはパーティーに出席しているのが誰なのかを知るやいなや、彼は誰にも気づかれずに出て行こうとした。
 ウ. トムはパーティーに出席するのが誰なのかを知って、パーティーのテーマを変えようとした。
 エ. トムは誰がパーティーに行くのが分かって、そのパーティーに招待してもらおうとした。

V

同義語

25. ウ. drought 「干ばつ」
 (a) 「長期に渡る雨の降らない期間」
 (b) 「昨日降った雨により、この地域で 100 年ぶりの長い～がついに終わりを迎えた」
 他の選択肢の意味は次の通り。ア. 「不在」イ. 「危機」エ. 「不足」
26. ウ. generous 「寛大な、気前のいい」
 (a) 「必要あるいは期待されている以上のものを与えよう意欲を示している」
 (b) 「スーザンは他人のお手伝いをするのにいつも自分の時間をかける～女性だった」
 他の選択肢の意味は次の通り。ア. 「首尾一貫した」イ. 「望ましい」エ. 「中庸な、適度の」
27. ア. fossil 「化石」
 (a) 「地中に残された過去の植物や動物の死骸」
 (b) 「その博物館は新たに採取された～は 5000 万年以上も昔のものであると断定した」
 他の選択肢の意味は次の通り。イ. 「遺産」ウ. 「供給、条項」エ. 「余剰」
28. ウ. observe 「観察する」
 (a) 「重要なことに気づく、あるいはそれを目の当たりにする」
 (b) 「その科学者は、時間が経つにつれその動物の行動にいくつかの変化が起こることを～
 ことができた」
 他の選択肢の意味は次の通り。ア. 「分析する」イ. 「論証する、実演する」エ. 「予想する」
29. ウ. squeeze 「握り締める、絞る」
 (a) 「主として指や手で何かをしっかりと握りしめる」
 (b) 「その若い娘はその診療室に入った際に母の腕をぎゅっと握り始めた」
 他の選択肢の意味は次の通り。ア. 「引きずる」イ. 「組む、折り畳む」エ. 「包む」

VI

語句整序

- [A] 30. エ. 31. ア.
 (The taxi got stuck in traffic, which) caused Paul to be late for the meeting by (half an hour.)
 cause O to do 「O が～する原因となる」 by は差を表す前置詞
- [B] 32. ウ. 33. カ.
 (John and George have) a tendency to complain compared with (their colleagues.)
 compared with ～ 「～と比べて」
- [C] 34. ウ. 35. イ.
 (As the accounting software became easier to use, the) number of shops purchasing it increased (sharply.)
 purchasing it は shops を修飾する分詞
- [D] 36. ウ. 37. ア.
 (Not) until recently did Nancy become aware (how dangerous what she had been doing was.)
 Not until recently の副詞句に否定語が含まれており、主文に倒置が起こる

VII

長文総合

38. エ. Once in a while, through interaction with other groups, new members are added to a herd.
 「時として、他の集団とのかかわりを通じて、群れに新たな個体に加わることもある」
 第1段落最終文 “This is made up of several generations of relatives, with occasional additions by mating from other herds.” が根拠となる。その1文のおよその意味は「この群れは数世代からなる血縁関係にある個体で構成されるが、交配により他の群れから個体に加わることもある」である。
39. ア. About two years after being born, young elephants become independent of their mothers' care.
 「およそ生後2年で、若いゾウは母親の世話を離れて独立する」
 第2段落第3文 “The young elephant is nursed by its mother for about two years and remains under her protection for two years more.” が根拠となる。その1文のおよその意味は「若いゾウはその母親に、およそ2年の間世話をしてもらい、さらにもう2年間は母親の保護のもとにあり続ける」である。従って母親の世話を離れて独立する時期は、生後4年ほどとなるはずであるので、ア. はこの1文の内容に反する。
40. ウ. The number of elephants in all-male herds is less than half that in a normal family elephant herd.
 「全てオスから成る群れにおけるゾウの数は、家族で構成される通常の群れにおけるゾウの数の半分未満である」
 第3段落第1文 “The typical elephant herd contains from 20 to 40 females (cows) of all ages.” と最終文 “Adult males (bulls) usually live alone or in temporary all-male groups of up to seven members.” が根拠となる。それらの文のおよその意味は「典型的なゾウの群れには、年齢を問わず20頭から40頭のメスが含まれる」、及び「大人のオスはたいてい、単独で生活するか、最大で7頭のオスだけで一時的に形成される集団で生活する」である。通常のゾウの群れが最低20頭の個体から成るのに対して、オスの集団は最大で7頭とあるので、これはウ. の「半分未満」という条件を満たしている。
41. イ. Elephants herds move to a water source slowly enough even for very senior members to make progress at the same time.
 「ゾウの群れは、高齢の個体でも同じペースで進むことができるほどの速度で、水源に向かって移動する」
 第4段落第4文 “The pace is set so that even the very young and the very old can keep up.” が根拠となる。その1文のおよその意味は「その速度は若いゾウや年老いたゾウがついて来られるようになっている」である。
42. ア. Elephants have not been known to enter the fields of farmers in a herd.
 「ゾウが農家の土地に侵入するという事例はこれまで知られていない」
 第5段落最終文 “At times, a herd will invade the fields of farmers, but most will never enter villages or destroy huts.” が根拠となる。その1文のおよその意味は「時としてゾウの群れが農家の土地に侵入することもあるだろうが、大半の群れは村に侵入することも小屋を破壊することもない」である。ア. はこの1文の内容に反する。
43. イ. Aerial photos have indicated that many different family herds of elephants travel over the same route in order to fight with other elephants.
 「航空写真でわかるように、多くの異なるゾウの家族から成る群れが同じ経路をたどって移動を行っているが、その目的は他のゾウと戦うことである」
 第6段落最終文 “Pictures have been taken from airplanes showing vast elephant armies made up of many family herds traveling over the same route toward new feeding grounds.” が根拠となる。その1文のおよその意味は「航空機から写真が撮られているが、それらからわかるのは、家族からなる多数の群れからなるゾウの大集団が新たな餌場に向かって同じ経路で移動しているということだ」である。移動の目的は新たな餌場に向かうことであって、争うことではないので、イ. はこの1文の内容に反する。

44. / 45.

イ. Elephants never become hostile under any circumstances.

「ゾウはいかなる状況にあっても敵対心を抱くことは決してない」

第1段落第4文 “They become aggressive when their young are threatened.” が根拠となる。その1文のおよその意味は「自分たちの子どもが脅かされるとゾウ達は攻撃的になる」である。イ. はこの1文の内容に反する。

キ. It is impossible for an elephant herd to travel 50 miles in a season.

「ゾウの群れがある季節に50マイルも移動することはできない」

第6段落第1文 “A herd may range over a 50-mile (80-kilometer) radius in the course of a season.” が根拠となる。その1文のおよその意味は「ゾウの群れはある一つの季節で、半径50マイル(80キロ)の範囲で動き回る」である。キ. はこの内容に明らかに反する。

講評

形式： これまでの全学部共通の推薦試験と同様の形式・内容

内容：

- I [会話文] (標準) 選択肢には紛らわしい表現が含まれているため、前後の文脈をきちんと判断する必要がある。本文と選択肢の指示語表現には注意を払いたい。
- II [空所補充] (標準) 「英仏海峡トンネル建設の経緯」に関する英文。空所前後の文構造を把握し、空所に入れるべき品詞・語形を予測しながら選択肢を吟味することが要求される。
- III [文法4択] (易) 少し判断に迷うような設問もあったが、文法と語法の基本を押さえていれば容易に得点できる問題で構成されている。
- IV [同意文選択] (標準) 熟語の知識に関する問題。一部見慣れない熟語もあったが文脈で推測して乗り切りたい。
- V [語彙] (標準) 基本的な単語の知識を問う素直な問題。日頃から英英辞典を使って学習していれば、単語説明の英文にもさほど苦労はしないだろう。
- VI [語句整序] (やや易) 基本的な熟語や構文の知識があれば十分対処できる素直な問題。得点源にしたい。
- VII [長文総合] (標準) 「ゾウの群れ」に関する英文。内容は平易だが、設問の選択肢はやや細かい区別まで見抜けているかを試すものもあり、注意が必要。配点が高いことが予想されるだけにしっかりと得点しておきたい。

事前に英語表現 I・II が出題範囲から外れるとのアナウンスがあったものの、これまでの全学部共通の推薦問題と変わらない出題内容であった。全体としては例年の他学部推薦試験とあまり変わらない難易度であった。大問 II、IV、VII の出来で差がつくだろう。目標は 85%。

メルマガ無料登録で全教科配信！ 本解答速報の内容に関するお問合せはメビオ ☎0120-146-156 まで